

日本精線・子会社

本精線（本社・大阪市中央区、社長・新貝元氏）の子会社であるタイ精線は今月、設立30周年を迎えた。また、きょう16日に現地で式典を開催。日本精線の2021年3月期を最終年度とする「第14次中期計画（NSR 20）」でタイ精線は、ばね用線・極細線の生産能力拡大や生産管理システムの刷新などで約10億円を投資し、機能強化を図る。また将来的に月産1千トンを目指している。

# 「タイ精線」が設立30周年



10億円投資による用線など増強  
高機能独自製品販売に注力

30周年を迎えた新興社  
1988年に家電向け  
けばね用線、11年  
年に極細線、12年に自動車向け  
ばね用線、15年  
に太径クロム系  
ステンレス鋼線の  
の製造品目を拡充するなど、汎用品から高機能  
独自製品の製造にシフトしてきました。現在は日本  
にシフトしたこと、高機能独自製品の  
ロム系が好調に推移した  
高、経常利益3億240  
億4300万円で過去最  
18年2月期は、売上高38  
た先人たちに感謝したい」と話す。タイ精線の  
長い時期を乗り越えてきた  
長は「日系企業として早く立ち上げ、苦しい時期を乗り越えてきた先人たちに感謝したい」と話す。タイ精線の  
18年2月期は、売上高38億4300万円で過去最高  
15年  
12年  
11年  
10年  
9年  
8年  
7年  
6年  
5年  
4年  
3年  
2年  
1年  
0年

イ精線は今後、高機能独自製品の製造だけでなく、販売面にも注力する。時代の流れに乗り、日本精線グループで国際競争力を強化する」（同）といふ。日本精線は今後、枚方工場と東大阪工場に加え、タイ精線を含めた3拠点で国際競争力の強化を図る考えだ。

におけるステンレス鋼線 精線をサムットプラカート国内だけでなく日本や  
の需要増を見込み、タイに設立。設立当初は軟 東南アジアおよびヨーロッパに輸出している。従  
王国投資委員会から投資 質ステンレス鋼線の製造 去最高だった。  
奨励企業として認定を受 に特化していたが、20 業員数は190人。  
業員数は190人。

日本精線は東南アジアへ1988年5月、タイ 海外製造拠点として、タ となつた。また、生産量